

松田地区「まちづくり」の語り

新松田駅周辺まちづくり事業について

参加者 駅周辺整備は第5次総合計画の頃から市民の第1希望でした。歩行者とバス・タクシー・

自家用車が混在する現状は危険なので広場だけでも進めてほしい。集約施設は事業費も莫大で実態に合うか疑問。
議員 集約施設は組合で行で、まだできるかどうか分かりません。



参加者 2019年度から法定事務手続きを進めて、2023年以降着工となっているが、スケジューリングに可能ですか。
議員 都市計画決定が無いと工事に入れません。交通各社との交渉も具体的に進めなければなりません。

参加者 駅事業に反対ではないが、総事業費150億円の規模が必要なのか。駅ビルを造れば人が集まる時代ではなく、近隣では南足柄市の駅ビル、香川県高松、富山県高岡、秋田県、青森県など駅周辺事業は芳しくない。最終的に自治体が何とかすることに出来るかもしれない。また、駅前に駐車スペースを作り混雑を緩和するのはよいが、混雑の分析をしているのか。駅から徒歩圏に駐車場も増えている。
議員 駅周辺事業は、整備が必要という認識は共通で、期待はしたいが規模についてどうかという

「意見が多く出ました。事業費、それによる負債、住民サービスなど詳しく出してもらおうように要望します。駅の利用者数についても考慮しなくてはならない。第一生命は無くなり、足柄上病院利用者も減っています。一方、立花学園は増えています。」

松田小学校建設

参加者 耐力度調査とはどういうものですか。

議員 耐震調査とは別で、建物の耐久性がどのくらいあるかを調べます。松田小学校は、基準値以下になっています。子どもの命を守るために、建て替え事業は遅らせることはできません。

参加者 中学校の方が古いのですが、そちらはどうですか。

議員 中学校はまだ大丈夫です。4階建てと3階建てという違いもあると思います。

参加者 やがて中学校も耐力度が落ちてくるのではないですか。そのため小中一貫校を見据えた建て方なのですか。でも運動場は中学校の基準の1周200m、直線100m取れません。サッカーも野球もできないと思います。

議員 学校の在り方検討会では小中一貫校の方向性が示されましたが、場所が別でもカリキュラムの一貫性があれば可能です。必ずしも小中学校を1箇所にする事が決まっていたわけではありませんが、校舎としては将来的に増築すれば一貫校も対応可能です。その場合でも運動場の問題は課題です。

参加者 木造3階建ては素晴らしい。子育て世代には魅力的で、人口増に結びつくのではないのでしょうか。木には癒し効果もあります。しかし耐火性はどうですか。

議員 基本はRC造で、見えるところを木質化する計画です。RCを取り入れることで防火壁により延焼を防ぎます。

参加者 この事業も事業費の問題がある。相当な借金になる。住民サービスの低下が心配です。18教室も必要ない。もっとコンパクトにできるのではないか。

議員 公債費比率という指標がありますが、松田小学校建設を入れても、13%いきません。小学校建設については今の財政状況でも対応できると見えています。

参加者 学校は避難所や地域コミュニティの場でもあります。市民の理解が得られる側面だと思いませんか。

議員 議会からも、避難所として十分な配慮、また地域の方が使える場としての工夫を要望しています。建設委員会も市民のご意見を取り入れて進めていくので、議会も今後の成り行きを注視していきます。